

産総研中部センター・
日本鋳造工学会東海支部鋳造先端プロセス研究部会
共催シンポジウム

ハイブリッド開催

鋳造分野から見た アルミニウムのサーキュラーエコノミー に関する現状と課題

2026年3月6日(金) 13:00 ~ 17:00

参加無料
事前申込制

産総研中部センターと日本鋳造工学会東海支部鋳造先端プロセス研究部会は、アルミニウムのサーキュラーエコノミーにおける課題解決に貢献するため、アルミニウム産業の集積地である富山県にて、関連産業における最新情報、産総研をはじめとする各所での技術開発や取り組みなどを紹介するシンポジウム「鋳造分野から見たアルミニウムのサーキュラーエコノミーに関する現状と課題」を開催いたします。

プログラムは裏面をご覧ください

リアル会場

オークスカナルパーク富山
2F 鳳凰東の間

定員 80 名 (先着順)

オンライン会場

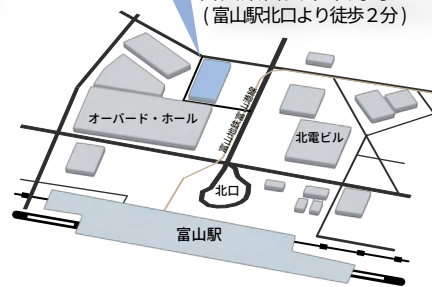
Zoom によるライブ配信

定員無制限

ACCESS

オークスカナルパーク富山

富山県富山市牛島町11-1
(富山駅北口より徒歩2分)



参加申し込み

申込方法

申込フォームから参加登録を行ってください。

[二次元バーコードの読み込み または クリック]

登録完了後、受付完了のメールが配信されますのでご確認ください。

会場参加



オンライン参加



申込締切

2026年2月27日(金) [会場定員に達し次第早期に締め切らせていただきます]

申込フォームへアクセスができない・受付完了メールが届かないなどのお問い合わせは裏面記載の [お問い合わせ先] までメールでご連絡ください。

後援

後援：富山県・公益財団法人 富山県新世紀産業機構 / とやまアルミコンソーシアム・富山大学・富山県立大学・日本鋳造工学会北陸支部・産総研北陸デジタルものづくりセンター

プログラム

13:00~13:25

産業技術総合研究所中部センター 所長 堀田 裕司

開会挨拶・産総研中部センターのご紹介

13:25~14:05 **講演①**

(株)コベルコ科研 モビリティ営業部 主席部員

蛭川 謙一

「アルミ鋳物のボデー材への採用とリサイクル材の適用」

自動車向けアルミダイカスト、特に高延性合金およびギガキャストの動向、LCA・ELV 規則などリサイクル関連規制、主要 OEM の再生材利用方針を解説する。また、電動化に伴いボディ・シャシー部品のダイカスト化が進み、非熱処理かつスクラップ利用を前提とした次世代高延性合金の開発やリサイクル技術の重要性が高まっている状況について整理した。

14:05~14:45 **講演②**

新エネルギー・産業技術総合開発機構 イノベーション戦略センター 首席研究員

田村 卓也

「鋳造分野から見たリサイクルアルミ材の日本、及び世界情勢」

アルミニウムのサーキュラーエコノミーに関しては、展伸材へのアップグレードのみが注目されているが、鋳造材においても近年大変大きな動きが起きている。本講演では、鋳造材から見たアルミニウムのサーキュラーエコノミー、更には世界情勢に関して俯瞰した現状を講演する。

休憩

14:55~15:35 **講演③**

富山大学 先進アルミニウム国際研究センター 副センター長

小野 英樹

「アルミリサイクルによる循環経済型イノベーション都市・富山の構築に向けた取り組み」

JST の共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT) 「富山循環経済モデル創成に向けた産学官民共創拠点」において実施しているアルミからはじまる循環経済型イノベーション都市・富山の構築に向けた取り組みを紹介するとともに、リサイクルの鍵となるアルミ合金の元素分離に関する技術課題について講演する。

15:35~16:15 **講演④**

産業技術総合研究所 マルチマテリアル研究部門 軽量金属材料研究グループ 研究グループ長

村上 雄一朗

「アルミニウム資源循環に向けた不純物元素除去技術」

アルミニウム素材は軽量材として需要の増加が見込まれる一方、製錬における温室効果ガス排出量が多いこと、マテリアルフローにおいて不純物元素が混入することにより高純度材へのリサイクルが難しいことが課題である。産業技術総合研究所では NEDO アルミニウム素材高度資源循環システム構築事業の一環として、分別結晶法を用いた不純物元素除去技術の研究開発を行っており、本プロジェクトの概要と産総研での技術開発について紹介する。

16:15~16:55 **特別講演**

トヨタ自動車株式会社 モノづくり開発センター 素形材技術部 先行開発室 主幹

田端 英二

「自動車におけるアルミ鋳造部品の動向とアルミリサイクル化の必要性」

クルマのライフサイクル全体を考えた資源循環の取り組みとして、再生材採用率（車両重量ベース）2030 年 30%以上を目指す目標を掲げて取り組んでいる。自動車におけるアルミ鋳造部品の動向とアルミリサイクル化の必要性について講演する。

17:00~17:15

〔リアル会場のみ〕名刺交換会

お問い合わせ先

国立研究開発法人産業技術総合研究所 中部センター

産学官連携推進室 イベント開催事務局 ☒ M-event-chubu-ml@aist.go.jp

